

PCバクテキラー

水成二酸化塩素の殺菌剤

近年、環境問題や人体への影響の為に、オフセット印刷において湿し水のノンアルコール化が一般的になりつつあります。ノンアルコール化による印刷は多くのメリットが生まれる反面、湿し水にバクテリアが発生する可能性が高まるという唯一のデメリットも持ち合わせています。そこでバクテリアの発生がどのように印刷へ悪影響を及ぼすかを考えてみましょう。

バクテリアはあらゆるところに存在し、いつでも湿し水に混入する可能性が有ります。

現在市販されているエッチ液には防腐剤、防菌剤がふくまれています。この防腐剤、防菌剤に対する耐性菌が生まれると湿し水循環装置、水舟循環ホース内で繁殖し始めます。繁殖し易い理由として、紙粉、パウダーエッチ液に含まれるセルロース系やリン系の薬剤といったバクテリアの餌が混入している為です。

発生したバクテリアはエッチ液の薬剤を餌とする為、湿し水のエッチ液の効力主に親水化作用、増粘作用を低下させます。

印刷への影響としては汚れる為、版面へかなり水を供給しないと印刷出来なくなり、結果的にインキの過剰乳化による様々な印刷トラブルが発生し易くなります。

その他の影響としてゴムローラーの腐食及び、循環ホース内の目詰まりによる湿し水循環能力の低下によって水舟内の湿し水温度の上昇とそれによるインキの過剰乳化が発生します。

の問題を解決する為に、耐性菌が出来ない二酸化塩素を素材とした印刷現場に適応した製品を発売しました。
(50～100倍相当)でご使用下さい。

活性促進剤が別売にてご用意致しております。循環系統の大掃除の時に
お休みの前等に、活性化して循環して頂く事により、バクテリアのコロニー等を
駆逐出来ます。尚、10時間程で活性化した成分は消滅します。